

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																				
精神看護学演習 I (対象理解と自己理解)	1	前期	2	演習 60時間																																				
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松丸直美、柚山香世子																																							
授業概要	あらゆる年代を対象として、精神状態のアセスメントならびに個対個の関係の展開、集団における関係について、実践的な演習を通して学習し、対象理解と自己理解を深め、看護介入の基本となる精神状態のアセスメントの技術と対人関係の技術を習得する。																																							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神状態のアセスメントのための理論を学び、実践への応用のための技術を習得する。 2. 子どもの精神状態をアセスメントし、関係を展開するための理論と技術を習得する。 3. 認知症のアセスメントについて学び、認知症を併発した精神疾患患者とその家族へのケアについて学ぶ。 4. 治療的な対人関係を形成するための理論と技術、ならびに看護場面の再構成の方法を学び、実践に応用する技術を習得する。 5. 集団力動理論を理解し、集団特有の心理を理解し、集団の中の自己を省察することを通して、自己理解と他者理解を深める。 																																							
履修条件	特になし																																							
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>精神状態のアセスメント：MSE を使った精神状態のアセスメントの理論を学ぶ。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>精神状態のアセスメント：診断面接の技術について理論と演習を通して学ぶ。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>子どもの精神障害：子どもの精神障害全体を把握し、精神状態をアセスメントするための基礎理論を学ぶ。</td> <td>柚山</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>子どもの精神障害：子どもの精神障害をアセスメントするための方法を、演習を通して学ぶ。</td> <td>柚山</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>認知症のアセスメント：特に精神疾患を有する患者の認知症をアセスメントするための理論と技術、患者と家族へのケアについて学ぶ。</td> <td>松丸</td> </tr> <tr> <td>16-17</td> <td>対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。</td> <td>松丸</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>看護場面の再構成：看護場面の再構成の理論を理解する。</td> <td>中島</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>看護場面の再構成：演習を通して、看護場面の再構成を行い、他者理解と自己理解の方法を修得する。</td> <td>中島・松丸</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>集団力動理論：集団力動理論を理解し、集団特有の心理について学ぶ。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>グループワーク：グループワークを通して、集団の中の自己を省察し、自己理解と他者理解を深める。</td> <td>田中</td> </tr> </tbody> </table>				回	内容	担当教員	1-3	精神状態のアセスメント：MSE を使った精神状態のアセスメントの理論を学ぶ。	田中	4-6	精神状態のアセスメント：診断面接の技術について理論と演習を通して学ぶ。	田中	7-9	子どもの精神障害：子どもの精神障害全体を把握し、精神状態をアセスメントするための基礎理論を学ぶ。	柚山	10-12	子どもの精神障害：子どもの精神障害をアセスメントするための方法を、演習を通して学ぶ。	柚山	13-15	認知症のアセスメント：特に精神疾患を有する患者の認知症をアセスメントするための理論と技術、患者と家族へのケアについて学ぶ。	松丸	16-17	対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。	田中	18	対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。	松丸	19-21	看護場面の再構成：看護場面の再構成の理論を理解する。	中島	22-24	看護場面の再構成：演習を通して、看護場面の再構成を行い、他者理解と自己理解の方法を修得する。	中島・松丸	25-27	集団力動理論：集団力動理論を理解し、集団特有の心理について学ぶ。	田中	28-30	グループワーク：グループワークを通して、集団の中の自己を省察し、自己理解と他者理解を深める。	田中
回	内容	担当教員																																						
1-3	精神状態のアセスメント：MSE を使った精神状態のアセスメントの理論を学ぶ。	田中																																						
4-6	精神状態のアセスメント：診断面接の技術について理論と演習を通して学ぶ。	田中																																						
7-9	子どもの精神障害：子どもの精神障害全体を把握し、精神状態をアセスメントするための基礎理論を学ぶ。	柚山																																						
10-12	子どもの精神障害：子どもの精神障害をアセスメントするための方法を、演習を通して学ぶ。	柚山																																						
13-15	認知症のアセスメント：特に精神疾患を有する患者の認知症をアセスメントするための理論と技術、患者と家族へのケアについて学ぶ。	松丸																																						
16-17	対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。	田中																																						
18	対人関係の技法：コミュニケーション技法、カウンセリング技法について学び、関係を展開しながら、対象把握を行う精神看護の技術について演習を通して修得する。	松丸																																						
19-21	看護場面の再構成：看護場面の再構成の理論を理解する。	中島																																						
22-24	看護場面の再構成：演習を通して、看護場面の再構成を行い、他者理解と自己理解の方法を修得する。	中島・松丸																																						
25-27	集団力動理論：集団力動理論を理解し、集団特有の心理について学ぶ。	田中																																						
28-30	グループワーク：グループワークを通して、集団の中の自己を省察し、自己理解と他者理解を深める。	田中																																						
教科書	特に指定せず。																																							
参考書	武藤教志：他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルヘルスイグザミネーション、精神看護出版、2017。 神田橋條治：追補 精神科診断面接のコツ、岩崎学術出版、1990。 宮本眞巳：改訂版 看護場面の再構成、日本看護協会出版会、2019。																																							
評価方法・基準	講義および討議への参加度30%、レポート70%とし、総合的に評価する。																																							
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと(1時間程度)。事後には講義で学んだ技術を日常に応用してみること(2時間程度)。																																							
備考	特になし																																							